FUJIPLA® LAMIPACKER®

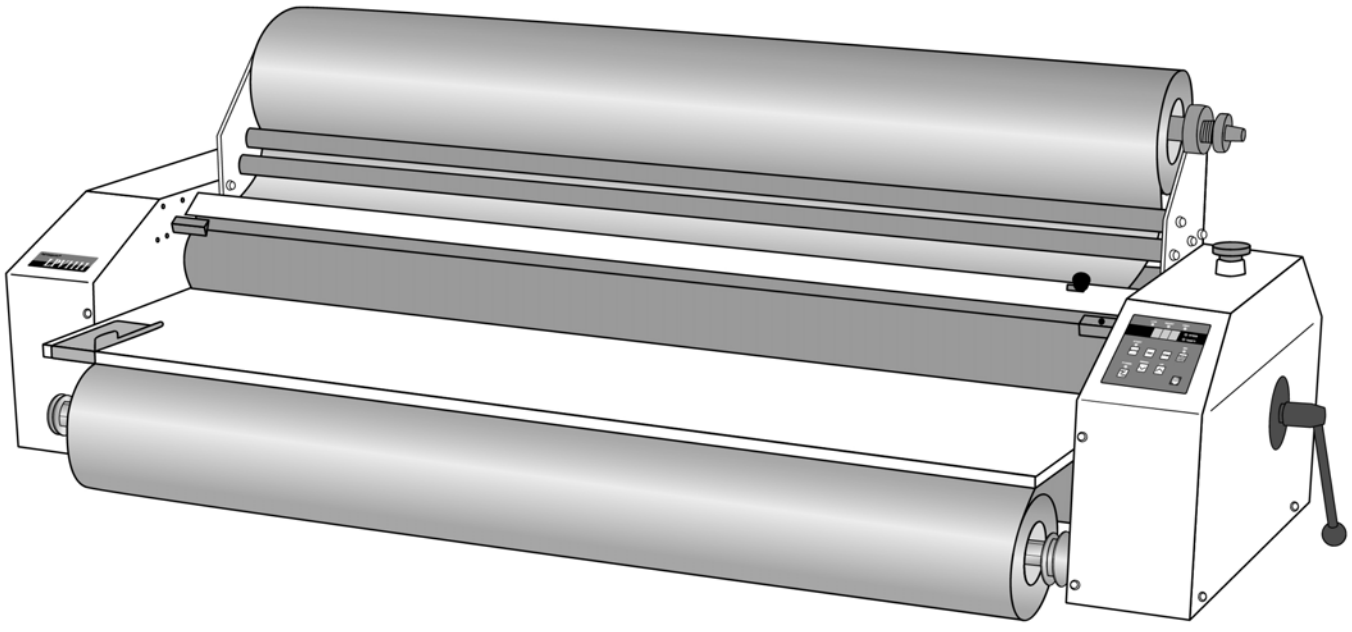
Laminator

Fuji Lamipacker®

LPV1111

取扱説明書（保証書）

この度は当社製品をお買上げいただきありがとうございました。
ご使用になる前に説明書をお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。



フジプラ株式会社
東京都中央区銀座1丁目9番7号
ホームページ http://www.fujipla.co.jp
ヘルプデスク
お問い合わせ 0120-227-846
FAX受付　03-3564-2116

ID Card System, Laminating Machine & Film

FUJIPLA Inc.
TOKYO, JAPAN

この度は、フジラミパッカーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機はラミネート用ロールフィルム（当社商品「CPロール」）を使い用紙などの表面に、透明なプラスチックフィルムをラミネート（積層）する機械です。ラミネートされた用紙などは、表面に光沢が出て美しくなり、耐水性、対磨耗性に優れたものとなります。
本取扱説明書をよくお読みになり危険や失敗がないよう末永くご愛用ください。

警　　告

分解禁止

巻込注意

感電注意

高温注意

⚠ ご自分では分解・改造・修理などをしないこと。万一、巻き込み等のトラブルが発生した場合は直ちに電源スイッチをOFFにして電源コードを外して販売店または当社に連絡していただき、その指示に従ってください。
⚠ ネクタイ・ネックレス等、巻込みやすい服装は避けること。髪が引き込まれないように注意すること。
⚠ 万一、巻き込んだ場合には直ちに電源をOFFにすること。
⚠ 機械に水をかけないこと、ぬれた手で操作しないこと。
⚠ 電源コードを機械の下にはさまないこと。
⚠ 移動する時は、必ず電源コードを抜くこと。
⚠ 機械の上部面およびラミネート仕上がり品は熱くなっております。
⚠ ラミネート禁止物（次項の「対象物」を参照してください）はラミネートしないこと。
⚠ 危険物のラミネートまたは誤った操作で発煙することがあります。
⚠ 安全カバーおよび前案内板は常時装着の上、使用すること。
⚠ 締め切った室内では、こまめに換気を行うこと。

安全取扱説明

安全にご使用いただくために、次の注意事項を必ずお守りください。

設置場所	1）湿気の多い場所、クーラーの吹き出し口近くは避けてください。電気絶縁が劣化し漏電する危険性があります。 2）本機は平らな所に設置し、フィルム取り出し口側はラミネートされたものが取り出せるスペースをあけてください。 3）本体の上に物を置かないでください。 4）電源は必ずAC200Vから取ってください。たこ足配線は絶対に使用しないでください。 5）閉めきった部屋では、こまめに換気を行なってください。 6）感電防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線の取り付けは電気工事店または販売店にご相談ください。 7）付属の電源コンセントを設置する際には、電気工事店または販売店にご相談下さい。
ラミネートフィルム	必ず当社純正フィルム「CPロール」をご使用ください。フィルムの特性が合わないと、巻き込むことがあります。
対象物	ラミネートは熱を加えて圧着していきますが、操作の手違いなどにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはお止めください。 1）発火性の物、熱に溶けやすいもの（塩ビ、ポリエチレン等）。 2）たった1枚しかないような大切なもの。 3）フィルムを含めて10mm以上の厚さのもの。 4）感熱紙・クレヨンで描いた絵など熱で変色・変質するもの。
機械操作	1）機械本来の使用目的以外には使用しないでください。 2）機械操作中は機械のそばを離れないでください。

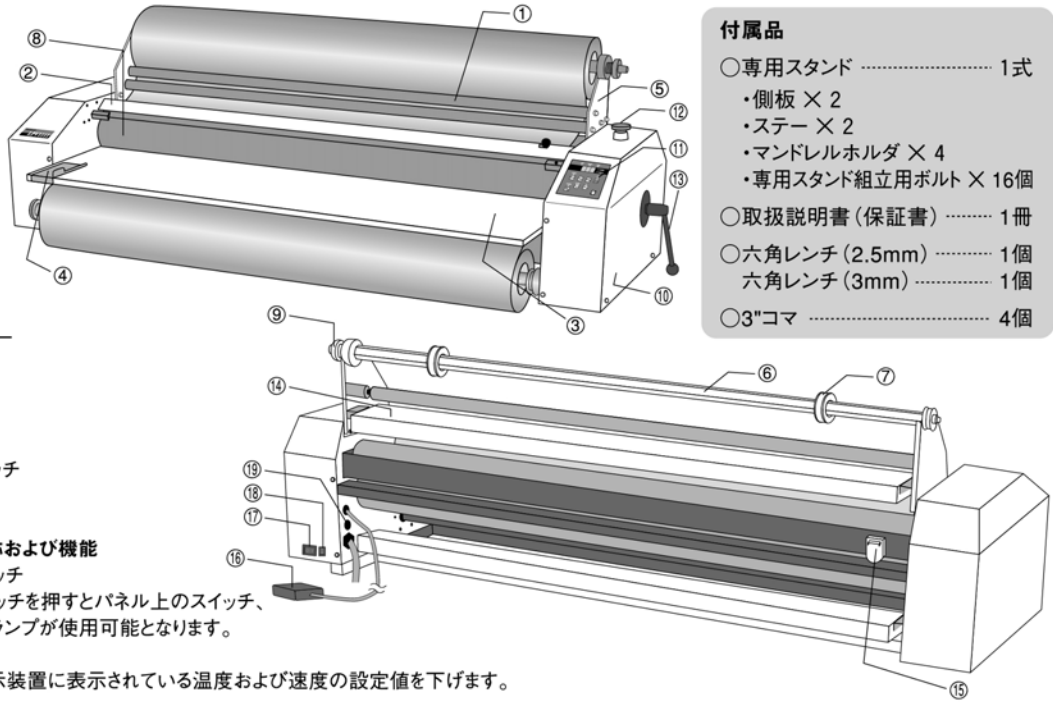
目　　次

警告 …… 1
安全取扱説明 …… 1
1．各部の名称と機能 …… 2
2．専用スタンドの組み立て …… 3
3．ご使用前の準備と簡単な組み立て …… 3
4．前案内板の取り付け …… 3
5．ロールフィルムのセッティング方法 …… 4
6．ウォームアップ …… 4
7．ラミネート加工 …… 5
8．リアカッターの使い方 …… 7
9．作業の終了 …… 7
10. ゴムロールの清掃 …… 7
11. ラミネートフィルム …… 7
12. 自己診断機能 …… 8
13. 機械仕様 …… 8
保証規定 …… 9

1. 各部の名称

各部の名称

①ガイドロール
②安全カバー
③前案内板
④ペーパーガイド
⑤マンドレル受け
⑥マンドレル
⑦コマ（2・1/2）
⑧ヒートロール
⑨張力調整ナット
⑩ケーシング
⑪操作パネル
⑫緊急停止ボタン
⑬ロール操作レバー
⑭冷却ファン
⑮リアカッター
⑯フットスイッチ
⑰電源スイッチ
⑱冷却ファンスイッチ
⑲ヒューズ（20A）



付属品

○専用スタンド 1式
- ・側板 × 2
- ・ステー × 2
- ・マンドレルホルダ × 4
- ・専用スタンド組立用ボルト × 16個

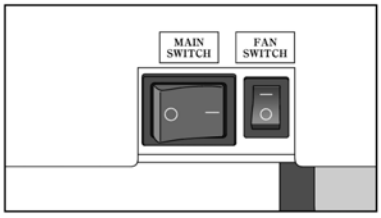
○取扱説明書（保証書） 1冊

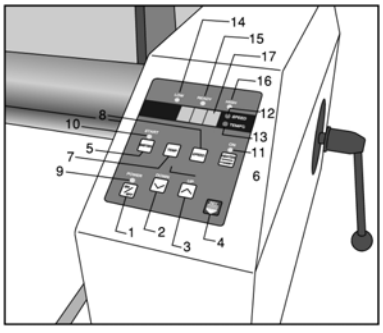
○六角レンチ（2.5mm） 1個
六角レンチ（3mm） 1個

○3"コマ 4個

操作パネルの名称および機能

1. ON/OFFスイッチ
   ON/OFFスイッチを押すとパネル上のスイッチ、ボタンおよびランプが使用可能となります。
2. DOWNボタン
   ディジタル表示装置に表示されている温度および速度の設定値を下げます。
3. UPボタン
   ディジタル表示装置に表示されている温度および速度の設定値を上げます。
4. 逆転（REV）ボタン
   逆転(REV)ボタンを押すとブザーが鳴りゴムロールが逆転します。
5. MOTORスイッチ
   MOTORスイッチを押す度にゴムロールの回転/停止を切替えます。
   ※ローラーが正転または逆転している時は、MOTORランプが点灯します。
6. HEATER/STANDBYスイッチ
   HEATERスイッチを押す度にヒーターON/STANDBYモード/ヒーターOFFを切替えます。
7. TEMPボタン
   TEMPボタンを押すと温度表示ランプが点灯します。この時ディジタル表示装置には現在の設定温度が表示され、設定温度の変更が可能となります。温度はUP/DOWNボタンで設定できます。
8. SPEEDボタン
   SPEEDボタンを押すと速度表示ランプが点灯します。この時ディジタル表示装置には現在の設定速度が表示され、設定速度の変更が可能となります。速度はUP/DOWNボタンで設定できます。
9. POWERランプ（黄）
   電源スイッチを入れると点灯して、電源が入っている事を表します。
10. MOTORランプ（緑）
    ローラーが正転または逆転している時に点灯して、停止時は消灯します。
11. HEATERランプ（赤）
    ヒーターが通電(加熱)している時にはHEATERランプが点灯して、通電(加熱)していない時にはHEATERランプが消灯します。STANDBYモード時にはHEATERランプが点滅します。
12. 速度表示ランプ（緑）
    SPEEDボタンを押すと点灯して、ディジタル表示装置には設定速度が表示されます。
13. 温度表示ランプ（赤）
    TEMPボタンを押すと点灯して、ディジタル表示装置には設定温度が表示されます。
14. LOWランプ（黄）
    ローラー温度が設定温度に対して低い時に点灯します。
15. READYランプ（緑）
    ローラー温度が設定温度に達した時に点灯してブザーが鳴り、ラミネート可能な事を知らせます。
    また、電気系統にトラブルが発生した場合には点滅します。
16. HIGHランプ（赤）
    ローラー温度が設定温度に対して高い時に点灯します。
17. ディジタル表示装置
    設定温度、設定速度、電気系統にトラブルが発生した場合のエラーコードを表示します。





2. 専用スタンドの組立

1）図1を参考に、スタンドを組み立てて下さい。
（組み立てには、機械に添付してあるボルトを使用して下さい）

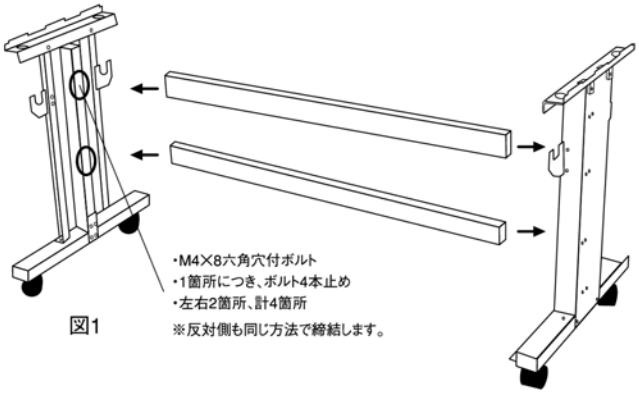


図1

2）機械本体をスタンドに載せる
・機械本体にスタンドを載せて下さい。（図2）
・本体底面に取り付けられているゴム足部分を、スタンド上面の穴に落としこんで固定します。
・作業の際、スタンドに取り付けられているキャスターのストッパーを下げて固定して下さい。

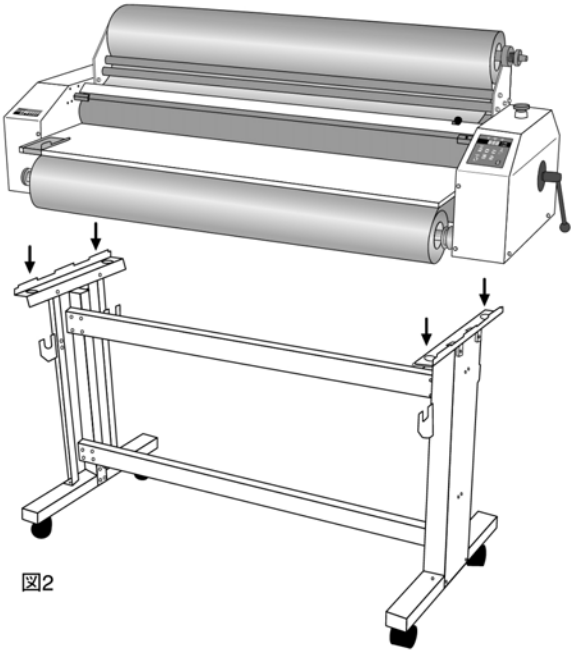
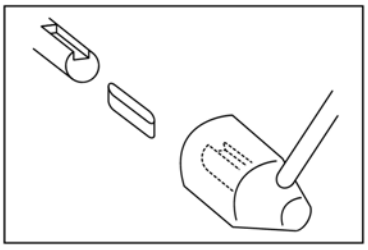


図2

3. ご使用前の準備と簡単な組立

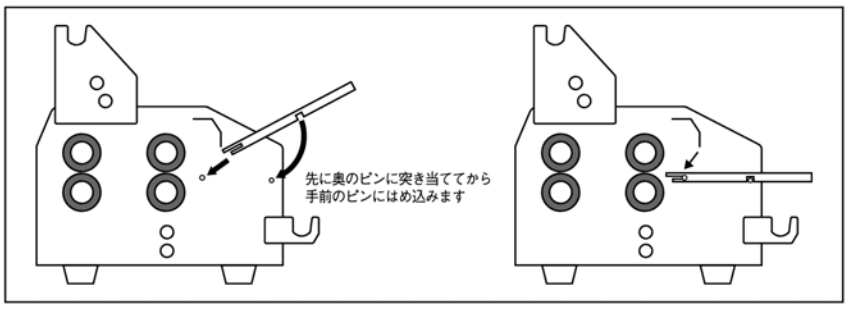
1）ロール操作レバーを上向きに取り付けます。付属のレバーのキー溝に付属のキーを差し込み、キーが右側のケーシングから出ているシャフトのキー溝に合うようにレバーを差し込んで、セットスクリューで止めます。

2）以下の付属品を用意して下さい。
・マンドレル…2本　・前案内板…1個



4. 前案内板の取り付け

1）機械本体のピンに、
部品を引っ掛けて取り付けます。



5. ロールフィルムのセッティング方法

1）ロールフィルム装填のため、安全カバーと前案内板を本体から外します。（図1）

【安全カバーの外し方】
①ロック解除ボタンを押して、安全カバー両側のロック機構を解除します。
②安全カバー右側のレバーを左方向へ引きます。
③レバーを引いたまま安全カバー右側を持ち上げ、そのまま右方向へ引き抜きます。

【前案内板の外し方】
前案内板の手前側を持ち上げ、手前方向に引き抜きます。

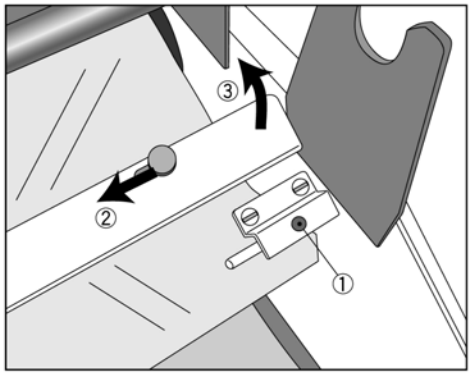


図1

2）マンドレルを上下とも本体から取り外します。
3）マンドレルにはフィルムの紙管サイズに合ったコマを使用してください。また、取り付け位置の調整をしてください。マンドレルへのコマの固定はツメを同一方向に揃えてください。（図2）

※マンドレルには標準品として2・1/4インチ紙管用コマが取り付けてあります。

注　意

ロールフィルムの最初と最後は、テープで止めてあります。テープを付けたまま機械に通すと、テープがゴムロールに接着してトラブルを起こす原因となります。テープは必ず取り外してください。

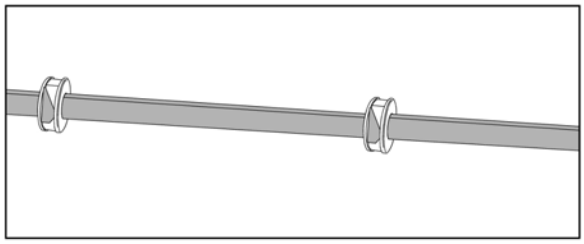


図2

4）ロールフィルムにマンドレルを挿入します。マンドレルに取り付けられた紙管固定用コマのツメの方向がロールフィルムの回転方向と逆向きになるように、マンドレルをロールフィルムに挿入してください。（図3）

ポイント

ロールフィルムにマンドレルを挿入する際は、マンドレルをツメの向きと逆方向に少し回しながら押し込むと円滑に挿入できます。

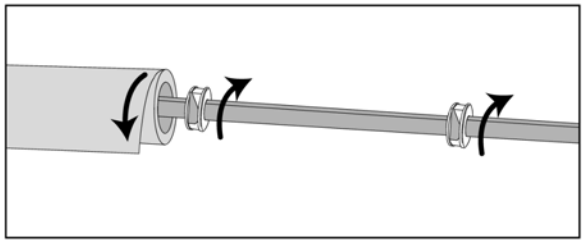


図3

5）ヒートロールにフィルムを持ってきたときにフィルムの樹脂面（ざらざらした面）が外側になるようにマンドレルを本体へ取り付けてください。

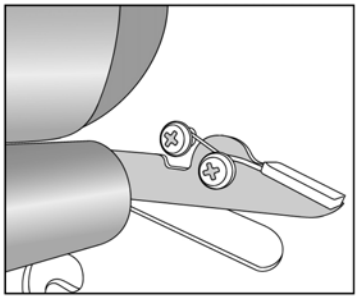
6. ウォームアップ

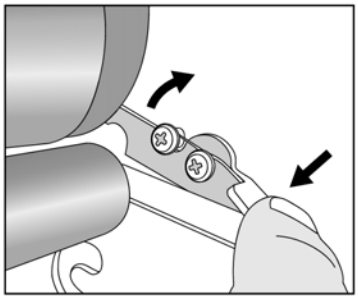
1）電源コードをコンセントに接続し、電源スイッチをONにします。（POWERランプが点灯し、デジタル表示のドットが点灯します）
2）下ガイドロールA,B（次項「図4」参照）を手前に引き出しておいて下さい。ガイドロールAについては、ロック機構があります。図のようにロックを解除してから、ローラーを引き出して下さい。
3）ON/OFFスイッチを押します。

注　意

ロールアップされた状態でON/OFFスイッチを押した場合、ロールアップ状態である事をお知らせする為のブザーがなります。警告音は、ロールダウン状態にすると止まります。

4）ラミネートするラミネートフィルムと用紙に合わせて、温度及び速度を設定します。（参考加工表をご参照ください）
5）ウォームアップ完了のブザーが鳴りREADYランプ（緑）が点灯するとラミネート加工が可能となります。





参考加工表＜フジラミパッカー LPV1111＞　　温度（℃）／速度（m／分）

用紙の厚さ	ラミネートフィルムの厚さ		
	38ミクロン	100ミクロン	150ミクロン
薄手の用紙 80～150μm	120/0.8	120/1.0	120/0.8
厚手の用紙 160～270μm	120/0.8	120/1.0	120/0.8

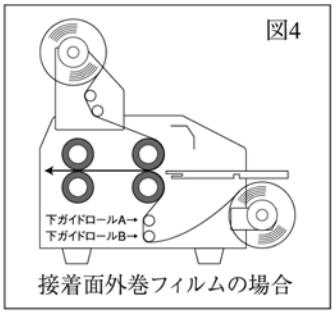
7. ラミネート加工

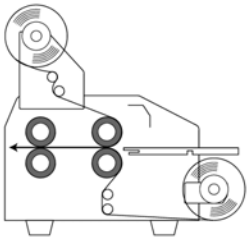
ラミネートフィルムの準備

注　意

ヒートロールは大変に熱くなっています。
取り扱いには充分ご注意下さい。

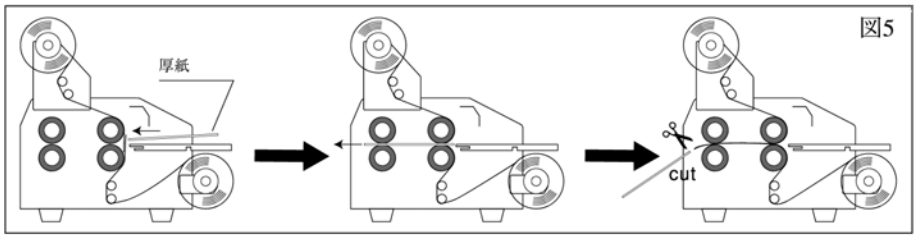
1）リアカッターをレールの左右どちらかの端に移動させてください。
2)下ガイドロールB・下ガイドロールAを手前に移動させて下さい。
3）上側のフィルムをガイドロールに通してからヒートロールの前に垂らし、下側のフィルムをガイドロールを通してから上側のフィルムに貼り付けます。（図4）
4）下ガイドロールB・下ガイドロールAを奥に押し込んで固定します。下フィルムを少し弛ませておくと、作業が行いやすくなります。
5）安全カバーと前案内板を取り付けます。
6）厚さ0.5mmぐらいの厚紙を使ってフィルムと一緒にヒートロール間に押し込み、ロール操作レバーでゴムロールを下げます。（図5）
MOTORボタンをONにしてゴムロールを回転させ、フィルムがゴムロールに巻きつかないように注意しながら、ゴムロールの間に通します。




接着面内巻フィルムの場合

ポイント

MOTORボタンを使用し、ゴムロールを回転させたり止めたりして行なうと簡単にできます。



7）初めの1mくらいはヒートロール上にシワが出ますが、その後無くなります。いつまでもシワが消えない場合はマンドレルに付いている張力調節ナットを回して、張力を少し強め（右回し）にして下さい。ラミネートされたロールフィルムの両端がずれている場合は、両端が重なるようにロールフィルムの位置を調整して下さい。

注　意 ラミネート加工を行なう時は、必ず安全カバーと前案内板を取り付け下さい。

ポイント きれいにラミネートするためには…

a）類似紙質の用紙を使用して「試しラミ」を行なって、温度と速度の条件を掴んでから本番に入ることをお勧めします。
b）加工中は用紙を上から手で押さえて、中央から両端へしっかりと張りながらラミネートするときれいに仕上がります。
c）ラミネート仕上がりが白く曇った時は熱不足です。温度を少し上げるか、速度を少し下げて下さい。

8）ラミネートする用紙の先端がヒートロールと平行になるように前案内板の上に平らに広げ、機械に挿入して下さい。
用紙の先端を平行にして機械に挿入しないと、ラミネートする用紙の後半がフィルムからはみ出してしまう恐れがあります。

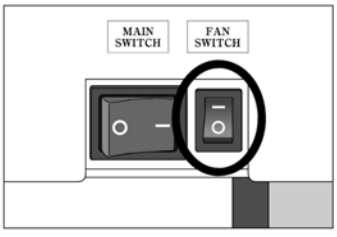
ポイント

機械に対して用紙を垂直に挿入するために、前案内板の上のペーパーガイドをワークの幅に合わせて使用して下さい。

9）ラミネートされたフィルムは、プルロールの所から出てきます。この時、加工物はある程度高温（30～40℃）になっています。

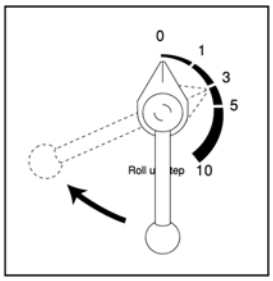
冷却ファン

機械後方の冷却ファンで加工物・プルロールを冷却する事により、連続加工時に安定した仕上りが得られます。電源スイッチの右隣にある冷却ファンスイッチを「ON」にすると、冷却ファンが動作します。



マウンティング厚の設定

マウンティング加工は、ボード状のマウンティング物の加工面、またはマウンティング物の上にワーク材を乗せ、その上にシート状のフィルムを重ねて（フィルム接着面下側）行う加工の事です。



1）マウンティング厚の設定は、機械右側面のロール操作レバーで設定します。
2）「0、1、3、5、10」の、各ロールアップ位置でのマウンティング厚は下表の通りです。

マウンティング厚	目盛り
通常ラミネート	0
1～2mm	1
3～4mm	3
5～6mm	5
10mm	10

3）マウンティング加工を行う際には、リアカッターレールを取り外して下さい。リアカッターレールを取り付けたままで加工すると、排出された加工物がレールと接触し、トラブルの原因となります。（リアカッターは、上に持ち上げてから後方へ引き出すと外れます。）

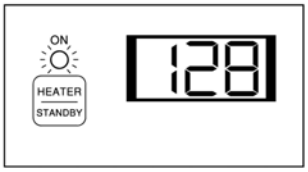
注　意

a）マウンティング厚を「5」以上に設定した状態で主電源を入れると、ロールアップ状態を知らせるブザーが鳴ります。一旦ロールダウンしてから、再度設定してください。
b）リバース（REVERSE）ボタンをONにするとゴムロールは逆転しますが、緊急時以外は使用しないで下さい。
c）作業中に一時機械を停止したい時は、必ずMOTORボタンをOFFにしてゴムロールの回転を止めてからゴムロールを上げて下さい。高温のゴムロールを加圧状態（下がった状態）のまま放置すると、ラミネートフィルムが溶ける可能性があります。

スタンバイモード「節電機能」の説明

「スタンバイモード」は、しばらくの間ラミネートを使用しない時に、消費電力を節約する機能です。
また、保温状態は保ちますので、再度ラミネートを行う時は、ウォーミングアップの時間が短縮されます。

1）手動切替え
HEATER / STANDBYスイッチを1回押して下さい。ヒータランプ（赤）が点滅して、ディジタル表示装置に“Stb”が表示され、スタンバイモードに切り替わります。
2）自動切替え
レディ中（READYランプ点灯中）に機械本体を動作させない時間がしばらく続きますと、自動的にスタンバイモードに切り替わります。（ヒーターランプ（赤）点滅。ディジタル表示装置“Stb”表示）



3）スタンバイモード解除（通常のホットラミへの切替え）
スタンバイモード中にHEATER / STANDBYスイッチを2回押して下さい。ヒーターランプ（赤）が点灯して、ディジタル表示装置に“設定温度”が表示され、通常のホットラミへ切り替わります。

注　意

長時間にわたりラミネートを使用しない時は、ロールアップする事をおすすめします。

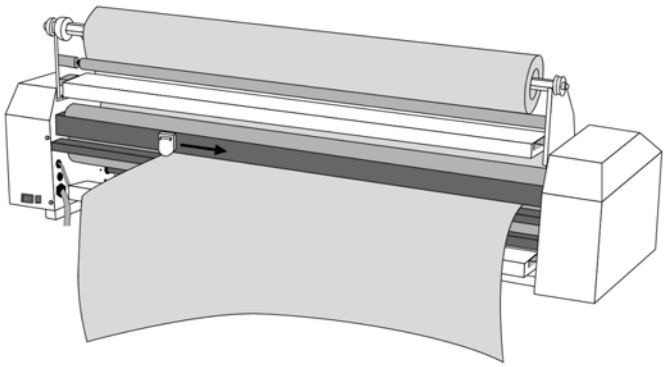
8. リアカッターの使い方

リアカッターの操作はゴムロールを停止した状態で行います。
ラミネート作業が終了し、フィルムを切断したい時に下記の手順で行います。

1）カッター本体上部を押すと刃先が出ます。この状態のまま横方向に移動し、フィルムを切断します（切断は左右どちらの方向からでも出来ます）。

ポイント フィルムをピンと張った状態で切断して下さい。

2）手を離すと刃先はカッター本体内に収納されます。



注　意

ラミネート加工中、必ずカッターはレールの左右どちらかの端に移動させて下さい。
フィルム走行範囲にカッターを置いた状態にしますと、ラミネートフィルムがカッター本体に接触して巻き込んだり、カッターが破損する恐れがあります。
マウンティング加工時には、リアカッターレールを取り外します。
フィルム切断時には、カッターによるケガに十分ご注意ください。

9. 作業の終了

1）作業が終了した場合、HEATERボタン・MOTORボタンをOFFにし、ロール操作レバーでゴムロールを上げます。
2）安全カバーと前案内板を取り外します。
3）フィルムをヒートロールの手前で上下とも切り、フィルムの残片を手で手前に排出して下さい。
4）電源スイッチをOFFにしてから電源コードをコンセントから外し、安全カバーと前案内板を取り付けて終了します。

注　意

フィルムを通したまま機械を冷却すると、フィルムがヒートロールに接着して、再起動の際にゴムロールのゴムを傷める事があります。

10. ゴムロールの清掃

定期的にゴムロール（ヒートロール/プルロール）の簡単な清掃を行ってください。
フィルムを外した状態で厚口の用紙（カレンダー、カタログ等）を二つ折りにして、糊が付着している箇所に折り目の方から機械に挿入します。これを数回繰り返してください。
ゴムロールに糊が多く付着するとフィルムを巻き込むことがあります。また、古くなった糊は非常に取りにくくなりますので、こまめに清掃をしてください。

注　意

ローラー清掃の際にコピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので充分注意して下さい。
古くなった糊をカッター等で削り取らないで下さい。ゴムが剥がれる可能性があります。
清掃の際、シンナー・ベンジン等の有機溶剤を使用しないで下さい。

11. ラミネートフィルム

フィルムの特性が合わないとラミネート仕上がり不良や巻き込み等の故障の原因となりますので当社純正ロールフィルム「CPロール」をご使用下さい。詳細に関しては販売店または当社にお問い合せ下さい。

12. 自己診断機能

電気系統にトラブルが発生した場合は、READYランプが点滅して、液晶パネル表示装置にエラーコードを表示し、ブザーが鳴ります。
同時にモーター、ヒーターはOFFとなります。

エラーコード	異常内容
E-1	温度センサー断線
E-2	温度センサーショート
E-4	ヒーター連続異常通電
E-6	システムエラー

エラーコードが表示された時は動作不能となりますので、販売店または当社にご連絡下さい。

13. 機械仕様

商品名	LPV1111
最大ラミネート幅	1120mm
最大ラミネート厚	10mm（マウンティング加工時）
ラミネート速度	0.4～2.5m/分
温度調節範囲	常温・40～150℃
ウォームアップ時間	6～11分
電源電圧	単相　AC200V（50/60Hz）
消費電力	3000W
本体サイズ（W×D×H）	本体:1521×557×478（mm）／専用スタンド組立時:1521×606×1205（mm）
本体重量	本体:85kg（107.5Kg:専用スタンドを含む）／スタンド重量:22.5Kg
使用環境温度/高度	0～40℃〔推奨環境20℃（±5℃）/海抜2000m〕

※ウォームアップ時間は、使用環境温度などによって差が生じる場合があります。

保証規定

この製品は、厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。
しかし、通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた時は保証規定に従い保証を致します。

1. 保証期間中に使用説明書記載通りの正常な使用状態において、万一故障が発生した場合、保証書を添えて当社または販売店へご持参下されば、無償で修理致します。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となり、実費にて申し受けます。
   a) 使用説明書記載どおりの取扱ではない、使用上の誤りまたは改造や不当な修理による故障および損壊。
   b) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変、ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障および損傷。
   c) ご使用中に生じた傷等の外観上の変化。
   d) 当社純正ラミネートフィルム以外のフィルム使用が原因であると判断される故障・損壊。
   e) 保証書の提示がない場合、または保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 万一、ラミネート加工に失敗した場合やラミネートした写真等の表面に気泡が発生した場合でも、内容物の保証は致しかねます。
4. 修理ご依頼品、および保守用部品のご持参および持ち帰りの交通費など、またご発送される場合、および当社より返送する場合の送料および諸費用はお客様のご負担となります。
5. 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造中止後、5年間です。
6. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
7. この保証書に従わなかった場合、機械の安全性能が損なわれる事があります。

☆本規定は上記条件において無償修理をお約束するもので、御客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保障期間経過後の修理等は販売店または当社にお問い合わせ下さい。

フジラミパッカー保証書

本書は保証期間内に正常なご使用で生じた故障について、取扱説明書に記載の保証規定に従い無償での修理を保証いたします。
故障した機械に本保証書を添えてお申し出下さい。

商品名	LPV1111
M/C No.	
保証期間	ご購入日より１年間 ご購入日　　年　　月　　日

お名前	
ご住所	
電　話	（　　）

販売店名・住所

印

フジプラ株式会社
東京都中央区銀座1丁目9番7号